

## 令和5年度三重県農村地域資源保全向上委員会（第2回）の議事概要

### ■ 開催日時

令和5年12月1日（金）14時00分から15時00分まで

### ■ 開催場所

三重県勤労者福祉会館 2階 第2会議室（三重県津市栄町1丁目891番地）

### ■ 出席委員

杉浦委員長、岡島委員、木村委員、福井委員 計4名

### ■ 議事概要

#### 1 各事業の調査審議

##### （1）日本型直接支払事業（多面的機能支払事業）の施策評価について

・事務局より、事前にいただいていた意見への回答とともに、施策評価について説明を行いました。

（委員）多面的機能支払交付金の実施状況について、「農業者・非農業者を合わせて43千人・団体で、うち非農業者は22千人・団体」とありますが、表中の数値の合計と合わないのは何故ですか。

（事務局）「農業者・非農業者を合わせた人・団体」「うち非農業者人・団体」の数値は、県から国へ提出済みの「令和4年度実施状況報告書」の「最大参加人数」の数値を引用しており、本報告書内の表から読み取れない数値となっていますので、どの数値を引用したかわかるよう加筆しました。

（委員）多面的機能支払交付金の効果について、調査方法のうち自己評価や市町評価は毎年行われていますが、アンケートは何故毎年ではないのですか。

（事務局）アンケートは、国及び県の施策の評価（中間・最終）に活用することを目的に、施策の評価時期（3年目・5年目）に合わせて2年目と4年目に実施しているため、毎年は実施していません。

（委員）調査方法について、活動組織の自己評価を2年目と4年目に実施していますが、データはどちらも活用しているのですか。

（事務局）本交付金の効果を調査するにあたっては、活動開始年度から起算して2年目及び4年目の組織の自己評価結果をどちらも活用しています。

（委員）市町評価数について、割合的に少なくないですか。

（事務局）本交付金における活動組織の自己評価・市町評価の運用については、本省からの事務連絡に基づき行っています。令和3年度までの自己評価・

市町評価の運用にあたっては、「当該活動期間以前に自己評価・市町評価を実施済みの組織においては任意とする」という扱いになっており、活動が2期目以降の組織においては「任意での実施」との扱いとしていたため、本事業対象市町数と比較して市町評価数が少なくなっています。

(委員) アンケート結果は、2年と5年を合わせたデータですか。

(事務局) アンケート調査は、対象年度を令和元年度及び令和4年度の実績とし、設問によっては令和元年度と令和4年度の比較が可能なものもありますが、アンケート調査の内容は、基本的に異なる設問となっていますので、各効果項目に記載しているアンケート結果は、令和2年度に実施したもの又は令和5年度に実施したもののどちらかの結果を記載しています。

(委員) 対象組織の自己評価に対する市町評価について、「指導または助言が必要」とする割合がないことも事実として述べてもよいように思います。

(事務局) 事実として明記します。

(委員) 取組の推進に関する課題、対応状況、今後の取組方向等について、県内の優良事例を紹介していますが、固有名は出せないのでしょうか。優良事例を横展開する意味でも、出した方が伝わりやすいと思います。

(事務局) 三重県施策評価報告書においては、県内の優良事例について該当する組織名を明記していませんが、県内の優良事例を横展開できるよう県内4組織を選定し施策の優良事例として様式にまとめています。

(委員) 報告書内のグラフについて、グラフから何を読み取るかを考慮し、表現した方がよいと思います。

(事務局) いただいたご意見を参考に修正します。

## ■ 会議の公開・非公開

公開

## ■ 傍聴者・報道関係者

なし

## ■ 問い合わせ先

三重県津市広明町13番地

三重県農林水産部農山漁村づくり課農地水保全班

担当：磯部、浦田、前田 TEL 059-224-2551